



親元に住もう! (稲美町親元近居住宅取得支援補助金)

町では、平成25年度から町内の定住人口の増加を図るとともに、親子間の子育てや介護などの支え合いを促進するために、町内出身者などの子世帯が、親元に新築住宅を新築する場合に稲美町共通商品券18万円分の補助を行っています。

平成27年度末までの期間限定です! 詳しくは都市計画課までお問い合わせください。

- 補助金額 180,000円分の稲美町共通商品券の一括交付
 - 補助対象者 平成25年の4月1日から平成28年3月31日までの間に町内に新築住宅を取得し親元に近居する子世帯に属する、次のいずれにも該当する人です。
 - (1) 補助金の交付申請日において、親世帯が町内に5年以上継続して居住している人
 - (2) 新築住宅の住宅部分の所有権の持分が子世帯の合計で2分の1以上ある人
 - (3) 町税等の滞納がない人
 - (4) 稲美町田園集落まちづくり住宅新築促進事業補助金交付要綱による補助金の交付を受けたことがない人
- (用語の説明)
- 親元近居 子世帯が親世帯と同じ稲美町内に定住すること
 - 新築住宅 新たに建築された住宅で、固定資産税評価基準に準拠する設備(玄関、台所、トイレ)を設けた者※2世帯住宅可
 - 取得 住宅を新築又は購入し、所有権登記すること
 - 定住 取得した新築住宅の所在地において、住民基本台帳に定める住民票の記載が町内にあり、引き続き居住すること

■申請・問合せ先 都市計画課 都市計画係 ☎492-9143



ひろげよう 人間のネットワーク

第28回稲美町人権大会 (ひろろあった会) を開催しました

8月31日(日)、コスモホールにおいて、「人権文化をすすめる町民運動推進強調月間」の締めくくりとして、第28回稲美町人権大会(ひろろあった会)を開催しました。会場には88人を超える町内外の方々が参加し、講演等に熱心に耳を傾けていました。

開会行事に引き続き、ポスター・標語・作文・習字の優秀作品表彰式を行いました。その後、入賞者の代表として、2人の児童・生徒の作文朗読がありました。

坂元藍さん(天満小学校6年)の『友達とは何なのか』は、いじめを受け苦しみながらも、「相手を大切にして、信頼することこそが友達なのです。」と、友達を思いやる優しい気持ちが表現された作文でした。

笹倉彰人さん(稲美中学校1年)の『小さくて気づいたこと』は、外見のことでの悩みを、家族、担任の励ましや先輩の優しい笑顔に支えられ、「外見は一人一人違うこと。他の人と違うことは悪いことではなく個性なんだ。」と、明るく前向きな気持ちで暮らすことの大切さを訴えた作文でした。

現地小学校に赴任されました。しかし現実には厳しく、過酷な自然環境や不安定な電気と水、バランスのとれた食糧確保の困難さ、言葉を含む文化の違いなどで差別にあったことをスライドで示しながら具体的に話されました。心身共に疲れ、心が折れそうになった藤本教諭の生きていく支えとなったのはナミビアの子ども達の笑顔、日本の子ども達の応援だったと振り返り、「子ども達の笑顔は宝物だ。それを守るのが私たち大人の仕事だ」と締めくくられました。

そして、「10,000kmをこえてつなぐハーモニー ナミビアサウンドをあなたに・・・」のタイトルで、兵庫稲美少年少女合唱団のミニコンサートがありました。澄み渡る歌声と太鼓の響きは、広大なアフリカの大地で歌い踊る、ナミビアの人々が目の前にいるような、臨場感あふれる素晴らしいコンサートでした。合唱団の主宰者である椿野伸仁教諭はナミビアまで出かけた音楽を通しての交流を行ってきたわら、現地の歌を採譜し今回の発表につながっていったことを話され、音楽指導にかける情熱を感じました。



藤本孝仁教諭

その後、『心でつなぐ笑顔の和・輪・環』という演題で、天満南小学校の藤本孝仁教諭の講演がありました。アムステルダム(オランダ)日本人学校勤務の経験を活かし、また現地に溶け込むなかで長年の夢である人の役に立ちたいという思いから、JICA(ジャICA)の青年海外協力隊としてナミビア共和国にある

参加した人からは、「子ども達の笑顔を守るために、自分が何ができるのか考えさせられた」などの感想が聞かれました。



「残したい稲美町の風景」写真コンテスト

稲美町には、先人たちが長い時間をかけてつくった多くのため池や水路、水田、集落などが広がる特徴的な風景(文化的景観)があります。今ある美しい風景を守り、未来へ伝えていけるよう取り組んでいます。

- テーマ 稲美町のため池や農村などの特徴的な風景、また、身近な四季の風景や未来に伝えたい風景。
- 写真サイズ等 応募写真は、6ツ切り、A4、ワイド6ツ切り(いずれかのサイズ(4ツ切り・ワイド4ツ切りは不可とします)カラー・白黒、縦・横、余白の有無・大小は自由です。平成25年1月1日以降に撮影された未発表の写真に限ります。※特選・入選を受賞した作品は資料館で展示するため、受賞者には改めて半切サイズ(356mm×432mm)の写真の提出をお願いします。
- 賞 特選…1点(賞金3万円と賞状) 入選…2点(賞金1万円と賞状) 佳作…9点(賞状)
- 応募方法 応募用紙に記入のうえ、写真と応募用紙を資料館まで提出してください(郵送可)。応募写真の裏面にも名前を記入してください(応募用紙貼付可)。
- 募集期間 平成27年1月31日(土)【必着】
- 審査発表 平成27年2月中旬ごろ発表予定
- 注意事項 ◆応募は一人3点まで。
◆応募者は町内外を問いません。
◆特選・入選・佳作を受賞した作品はお返しできません。
◆受賞作品の使用権は主催者(稲美町・稲美町教育委員会)に帰属し、町ホームページや広報紙等への掲載、公共施設での展示など、公共の目的で作品を使用する場合があります。返却を希望されなかった作品については、受賞作品と同様の取り扱いとします。返却を希望された作品で受賞しなかったものについては、公開使用せずにお返しします。また、肖像権問題について、稲美町・稲美町教育委員会は責任を負いません。
- 問合せ先 郷土資料館 写真コンテスト係 〒675-1114 兵庫県加古郡稲美町国安1286-55 TEL/FAX 492-3770



再就職や起業を目指したい、新たに何かを始めたい女性を支援する『女性出前チャレンジ相談』を実施します!

と き 10月15日(水)午後1時~4時

と ころ いきがい創造センター1階 協働ルーム

面談時間 1人あたり50分間

相談員 長谷川まゆみ氏(キャリア・デベロップメント・アドバイザー、特定社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー)

再就職や起業をめざす女性や地域活動など新たに何かを始めたいチャレンジする女性の不安を解消し、適切な支援につなげるため、知見及び豊富な経験を有する専門家が相談に応じます。

申し込み 先着3人

相談を希望される人は、人権教育課まで申し込んでください。

直接窓口へ来られるか、電話でのみ受け付けます。

(申込先) 人権教育課 ☎492-2550

『男女共同参画セミナー』を開催します

と き 10月18日(土) 10時~11時30分

と ころ いきがい創造センター

2階多目的ホール

講師 藤井和佐氏(岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授)

演題 『農村社会における女性リーダー』

※どなたでもご参加いただけます。当日、直接会場へお越しください。

(問合せ先) 人権教育課 ☎492-2550

家庭的な雰囲気の中で心のふれあいを大切にしたケアを行います。

地域密着 認知症対応型通所介護 デイサービス琴池

利用者さん 募集中

平成26年4月に開設した新しい事業所です。

定員12名の少人数で、ゆとりのあるケアをさせていただきます。

住所: 稲美町国安1256 tel 079-492-8866 fax 079-492-8867

